

小学校 1年

イメージすることを楽しもう！

松原市立松原北小学校

教科

図工

単元名

おはなしだいすき

本単元で育む主な情報活用能力

F-STEP 1

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

物語を聞いたり読んだりして感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、いろいろな形や色を考えることをとおして、表現方法を考える。

物語や昔話を読んで感じたことや、分かったことを共有する。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

読み聞かせ等を通じて、読書に親しむ。

単元における学習の展開（全 13 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (3 時間)	○ 6 年生とぼうしを作ろう！ ・『ミリーのすてきなぼうし』の読み聞かせを聞き、感じたことを発表する。（☆） ・ 6 年生と協働し、新聞紙でぼうしを作る。 ・ファッションショーを開き、お互いのぼうしを見合う。
第 2 次 (5 時間)	○七夕かざりを作ろう！ ・七夕まつりのあらましを知る。 ・紙芝居『たなばたさま』を見て、由来となる伝説を知る。（☆） ・七夕かざりや願いごとの短冊を作って飾る。
第 3 次 (5 時間)	○「おむすびころりん」のお話を楽しもう！ ・国語科の教科書の本文を読み、登場人物の行動や気持ちを確かめる。 ・声の調子を工夫して、音読の練習に取り組む。 ・『おむすびころりん』（舟崎克彦作、金の星社、1998 年）の読み聞かせを聞き、感じたことを発表する。（☆） ・「穴の中では・・・」というテーマで、色鉛筆で画用紙に絵を描き、交流する。（☆）【本時】

本時のねらい

物語を聞いたり、読んだりして感じたこと、想像したこと、表現したいことを発見し、画用紙に絵を描くことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (10 分)	1. 『おむすびころりん』のお話を思い出し、テーマを確かめる。 ・教科書の本文にそったあらすじを思い出す。 ・教科書の本文には登場しない、よくばりなおじいさんの顛末を思い出す。 ・おむすびころりんとは関係がないことでも、描きたいことを描いてよいことを確認する。	・児童の興味が湧くように、教科書とは異なる展開の本を選定する。 ・本や図書館に親しむ態度を育むため、様々な教科や生活に関わる読み聞かせを継続していく。
展開 (25 分)	2. 色鉛筆で画用紙に絵を描き込む。 ・ねずみのごてん ・おにぎりのその後 ・地下の冒険 ・たからもの ・ごちそう ・わな	・互いのイメージを広げることができるよう、会話しながら、制作してよいことを伝える。 ・児童のイメージの広がり方を把握するため机間指導を行う。
まとめ (10 分)	3. 描いた絵を交流する。 ・おむすびころりんの続きのお話 ・どんなたからものがあるか ・もぐらがどうしているか ・自分で思いついたこと	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

図工科で表現活動をする際に、表現したいことが決められず、単に他の児童の作品を模倣しようとすることで自らの課題を解決しようとする児童が学級の中にあることがある。

しかし、今回の取組みのように、物語や昔話の読み聞かせを聞いたり、読んだりすることで、物語の世界を疑似的に体験することは、児童が主体的に表現活動に取り組む際の手立てとなる。

この取組みをとおして、表現活動に苦手意識がある児童が、読み聞かせの内容を自らの経験と結びつけたり、イメージをもとに発想したりすることができ、主体的に表現活動に取り組むことができたことは成果である。



お話を聞いて、おむすびころりんがたのしかった土の中で、おこっていることを想像して描いた作品